

## 長野運動公園総合体育館概要



## 人が集い、癒しと感動を与える北長野の新たな交流拠点に



外観パース(イメージ)※1

北長野地区は、JR北長野駅と長野電鉄信濃吉田駅が近接しており、公共交通の利便性が高いエリアです。また、商業施設や行政施設など多様な都市機能を有し、周辺には閑静な住宅街が広がっています。JR北長野駅から南東約1kmにある長野運動公園は、本市のスポーツ文化の発信拠点として、また緑と憩いの提供の場として大きな役割を担ってきました。その中心施設として、昭和53年の国民体育大会を機に誕生し、本市のスポーツ振興の拠点として、約50年にわたりスポーツの魅力を伝えてきた本市唯一の総合体育館が、新たに生まれ変わります。

新しい総合体育館は球技などを行うアリーナ、柔道場や剣道場、体操練習場だけでなく、多目的室や会議室、キッズルームを備え、年齢や性別、障害の有無を問わずどなたでも多種多様なスポーツを楽しめる施設となります。また、「する」スポーツだけでなく、大規模大会やFリーグ※2に所属するポアルース長野のホームゲームも計画されるなど、「みる」スポーツの新たな拠点となります。さらに、周辺に噴水や芝生広場なども整備することで、スポーツなどで体育館を利用する人だけでなく、子育て世代や高齢者、子どもたちなどが日常的に集える憩いの空間を創出します。

総合体育館を中心とした、癒しと感動を与える新たな交流拠点が誕生します。

※1 資料内のイラストは設計時のものであり、今後、変更になる場合があります  
※2 日本フットサルリーグ

## スポーツを「する」、「みる」、スポーツと「つながる」場所に

### ● Active

総合体育館利用者だけでなく、屋外でスポーツを楽しむ方や芝生広場で遊ぶ方、公園を散策する方にとっても交流や憩いの場となり、心地よい空間を提供する施設となります。



施設の正面となる位置にくつろぎ広場を整備します。ゆるやかな起伏のある広場とし、木陰のできる樹木や気軽に水遊びができる噴水を整備します。ピクニックや休憩等、シートを広げて寝ころびたくなるような気持ちの良いスペースとなります。



3×3バスケットやヨガなど、気軽に体を動かすことができる広場を整備します。大会時のウォームアップ利用も可能です。

### ● Life & Lead

約2,000席を備えるメインアリーナは、大規模大会やFリーグなどのプロスポーツの開催にも対応可能です。多目的室や会議室は各種イベントの開催が可能で、市民活動の受け皿となります。また、競技用車椅子が行き来しやすい廊下幅や多目的トイレの設置など、ユニバーサルデザインにも配慮した施設となります。



観客席はどこからでも観戦しやすく、プロスポーツの臨場感や高揚感を感じることができます。

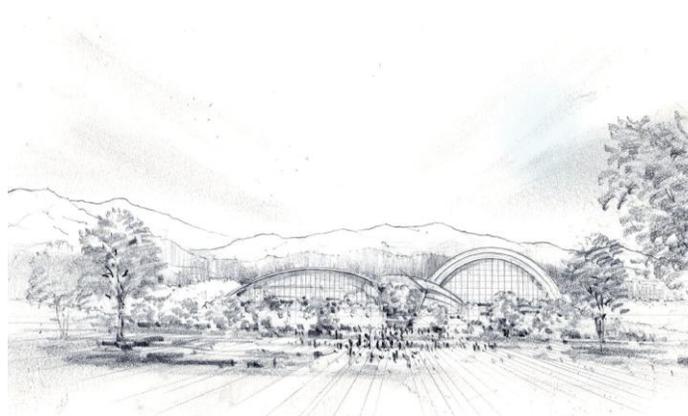


多目的室や会議室はスポーツのみならず、地域の集会やイベントなど多目的な利用が可能です。

## 緑あふれる憩いの空間を創出し、非常時も頼れる存在に

### ● Park & Platform

総合体育館を中心として、公園全体が魅力的な場所に生まれ変わります。公園南側とのつながりや今ある木々を活かし、どなたでも日常的に親しめる場所となります。また、災害時には安心して避難できる場所となり、避難所への機能転換もスムーズに行える施設となります。



地域を代表する景観となっている体育館南側のケヤキ並木も活かし、緑が連続的につながる空間を演出します。



1階スポーツコリドーや2階アルプスデッキなどの雨に濡れない軒下空間は避難所運営支援スペースや物資集積場としても有効活用が可能です。

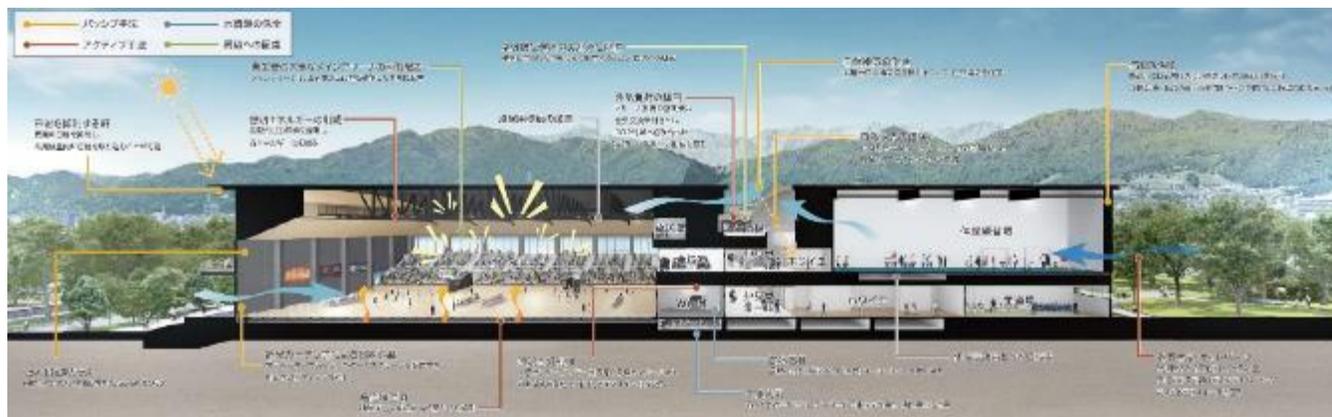


令和元年東日本台風災害発生当初のメインアリーナ内

既存体育館と比較し、サブアリーナの床を弾力性のある素材にするなど、避難生活が長期化した場合に避難者が少しでも快適に過ごすための工夫を盛り込んでいます。

### ● Sustainable

メンテナンスや機器の更新がしやすい、省エネで効率的な施設となります。また、光や風、音に配慮したデザインとし、今ある緑を大切にしながら新たな緑を加えることで、自然が調和した安らぎのある空間となります。



## ● 新総合体育館 概要

延床面積：12,127.88㎡

構造：鉄骨造 地上3階建て

駐車区画：321台(車いす利用者優先区画、障がい者優先区画含む)

## ● 主要施設

### ● メインアリーナ：2,362.28㎡

観客席 計2,040席(2階固定席1,202席、1階可動席828席、身障者用10席)  
 バスケットボール2面、バレーボール(6人制)4面、  
 バレーボール(9人制)3面、バドミントン12面、ソフトテニス2面、  
 フットサル2面、剣道8面

### ● サブアリーナ：1,130.88㎡

観客席 2階109席(2階固定席105席、身障者用4席)  
 バスケットボール1面、バレーボール(6人制)2面、  
 バレーボール(9人制)2面、バドミントン6面

### ● 剣道場：287.37㎡

### ● 柔道場：501.85㎡ (240畳)

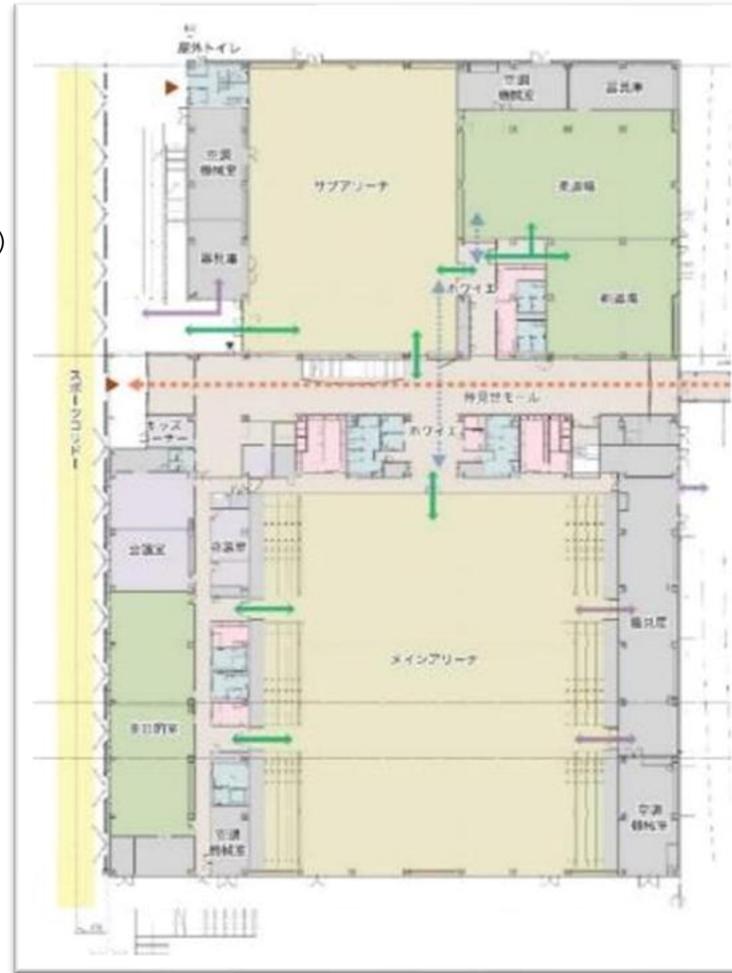
### ● 体操練習場：1,077.62㎡ (ホワイトリングサブアリーナから移設)

### ● 多目的室：371.94㎡

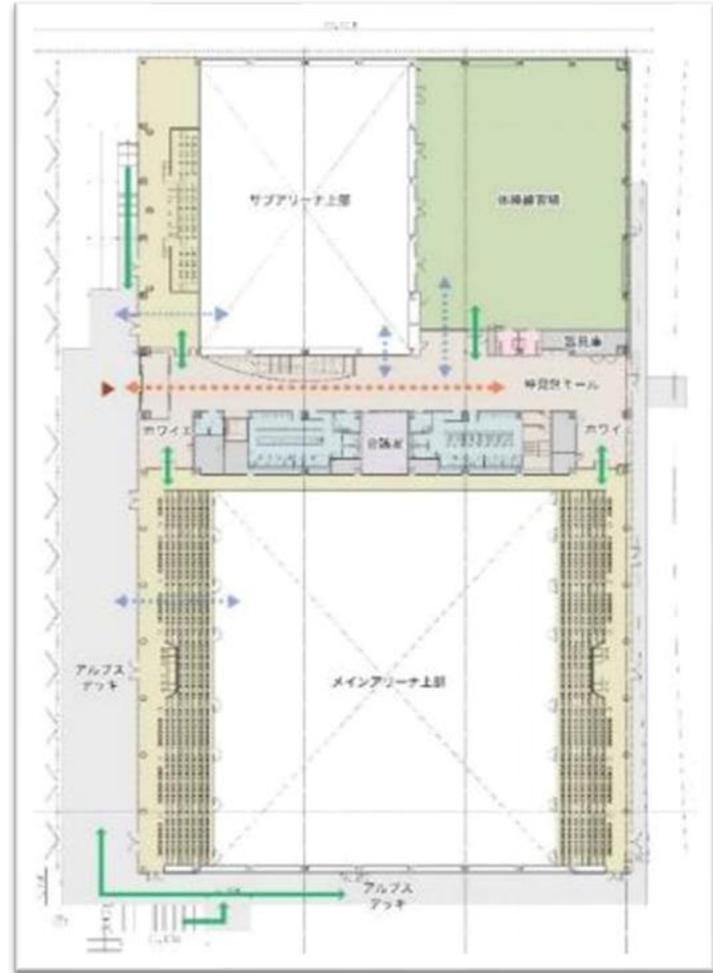
### ● 会議室1：181.01㎡

※ 主要施設の面積は設計時のものであり、今後、変更になる場合があります

## ● 1階平面図



## ● 2階平面図



# 長野運動公園総合体育館整備全体スケジュール

